

岡谷蚕糸博物館紀要 総目次（第1～14号）

この総目次は、紀要発刊の順序にとられず、以下の視点に基づいて、紀要に掲載した全項目（題名）を分類整理し、紀要の大要が見える総目次としました。

■岡谷の製糸

富岡製糸場で使用されたフランス式繰糸機と、小野組で用いられたイタリア式繰糸機は、後にその両者の利点を併せて改良され、岡谷の中山社で独自に実用化した諏訪式繰糸機へと発展します。その繰糸機による繰糸法が、明治から昭和初期にかけて製糸業の近代化を支え、製糸全盛時代を担ったことをふまえ、整理しました。

■日本の蚕糸絹

日本の蚕糸業が歩んできた歴史と、その技術開発・発展のあゆみをまとめ、桑・繭の研究や、今後、21世紀型新ビジネスとして期待されるカイコや絹・シルク開発の動向を紹介します。

■絹の歴史・文化

古代中国に始まり、悠久の年を重ねてきた絹文化の紹介と、現在各地で行われている絹工房の活動や、これから未来に向けて邁進するシルクのあり方をまとめました。

■世界の動き

世界の蚕糸業の歴史と、海外からの報告を中心に、刻々と変化する海外での蚕糸業の現状を紹介します。

■岡谷蚕糸博物館の活動

岡谷蚕糸博物館だよりはもとより、博物館活動の一環としての学習支援活動、博物館から読者・利用者の皆様にむけてのメッセージなどを掲載しています。

タイトル	サブタイトル	筆者等	巻数－ページ
【創刊のことば】		岡谷市教育長 齋藤 保人	1-1
【巻頭エッセイ】			
・市長さんを訪ねて“製糸のまち”に育って		岡谷市長 林 新一郎	3-1
・岡谷訪問随感		蘇州絲綢博物館館長 錢 小萍	4-4
・21世紀を目前にして 課題と展望		岡谷市教育長 北澤 和男	5-2
・図書館および博物館から受けた恩恵を思う		鮎沢 啓夫	6-1
・左衽考		篠原 昭	7-6
・製糸業の技術基盤を考える		吉國 隆	8-2
・“横浜開港”をとらえた平野村・生糸商人		宮坂 久臣	9-2
・製糸が諏訪の起業魂を紡いだ		茅野 實	10-2
・郷愁の中の岡谷製糸業史		戸沢 充則	11-2
・製糸の町、岡谷の記憶を遺すために		亀井 伸雄	12-2
・先人から学び、受け継ぐものづくりの心		今井 竜五	13-2
・一商工会議所 会頭さんを訪ねて－ 製糸から培った経営ノウハウとこれからの産業観光		宮坂 勝彦	14-2

■岡谷の製糸

- ・特集「岡谷の製糸」に寄せて
- 《富岡製糸場》
- ・上州富岡製糸場之図（写真）
- ・生糸の水分検査器1号器（富岡製糸場使用）（写真）
- ・生糸の水分検査器1号器
- ・富岡製糸場の揚返機
- ・旧富岡製糸場資料
- ・世紀をつなぐ 繭の記憶
- 《フランス式繰糸機》
- ・フランス式繰糸機のひとりごと
- ・フランス式繰糸機の復元 一糸みちの構造について一
- ・フランス式繰糸原機復元機（写真）
- ・フランス式繰糸機復元機 一稼働する創業当初の富岡製糸場繰糸機一
- ・旧富岡製糸場資料 フランス式繰糸機151・152番機 ～近代製糸技術の起点～
- ・市立岡谷蚕糸博物館のフランス式繰糸機 一富岡製糸場草創期の繰糸機か一
- 《イタリア式繰糸機》
- ・イタリア式繰糸機
- 《諏訪式繰糸法 一諏訪式繰糸機を中心に一》
- ・中山社のこと 一信州式木製繰糸器械発祥の地一
- ・価値工学からみた「諏訪式繰糸器械」に関する一考察
- ・4条繰座繰機で糸を取る工女たち
- ・明治初期村の製糸工場の繰糸鍋について 一明治初年の行政文書史料の分析一
- ・長野県筑北地方に分布する西条炭の歴史（Ⅰ）
- ・4緒繰り繰糸機（写真）
- ・長野県筑北地方に分布する西条炭の歴史（Ⅱ）
- ・女工哀史の検証（Ⅰ）序章 明治初期の繰糸事情 一技術と賞罰一
- ・女工哀史の検証（Ⅱ）明治30年台の職工事情 一女子工員を中心にして一
- ・水揚水車（写真）
- ・女工哀史の検証（Ⅲ）信州上一番格生糸 一生糸輸出世界一への道一
- ・諏訪湖・天竜川と岡谷の製糸 一発展を支えた水車動力と製糸用水一
- ・市立岡谷蚕糸博物館展示の2条繰り諏訪式繰糸機 一設計図と技術上の位置一
- ・特集「岡谷の製糸」の要約 なぜ岡谷に製糸が栄えたか 一諏訪式繰糸法を中心にして一
- ・諏訪式繰糸機の特性 一イナズマ式ケンネル一
- ・諏訪式繰糸機の稲妻式ケンネルを巡る より掛け特性の解析
- ・座繰における糸道経路の機能 ～諏訪式繰糸の工学的検証～
- 《多条繰糸機》
- ・岡谷で生まれた製糸機械 一増沢式多条繰糸機一
- ・御法川式多条繰糸機

◆製糸技術の発展 一岡谷蚕糸博物館収蔵品にかかわる諏訪式繰糸機を中心とした技術の発展

一現代に生きる中山社のエンジニアリング一

一諏訪岡谷・製糸業の最盛期を支えた燃料炭一

一諏訪岡谷・製糸業最盛期の燃料不足の窮乏を救った石炭屋たち一

小口 晴敬	10-37
花岡 孝次・嶋崎 昭典 両角 加代子	1-表紙写真 2-表紙写真 2-1 3-85
内山 充	11-巻頭カラー 12-133
嶋崎 昭典 小口 雄勇	1-2 5-83
鮎澤 諭志 鮎澤 諭志 瀬木 秀保	6-12 11-80 12-85
村山 穰助	3-3
小河原 貞二 瀬木 秀保 両角 加代子 太田 秀保 齋藤 保人	1-40 2-21 2-85 4-34 8-22
齋藤 保人 嶋崎 昭典・森川 英明 嶋崎 昭典・森川 英明	9-表紙写真 9-15 9-36 9-46
嶋崎 昭典・森川 英明・鮎澤 諭志 鮎澤 諭志 鮎澤 諭志 嶋崎 昭典 鮎澤 諭志・森川 英明 白 倫・森川 英明 森川 英明・白 倫	10-表紙写真 10-59 10-77 13-68 14-54 14-56 14-68 14-78
星野 伸男	2-31 4-6

・我が社（有）ハラダと私の履歴書 ー蚕糸機械とその技術ー	
・女工哀史の検証（Ⅳ）絹の靴下 ーセリプレーン検査に泣くー	
・織田式多条繰糸機 ～普通機と多条機の折衷型繰糸機～	
《岡谷製糸のあゆみ 新しい未来を拓く》	
・新しい製糸機械開発にみる岡谷製糸機械メーカーの技術開発力	
・攪拌繰糸方法の開発	
・太織度多目的繰糸機の開発	
・高品質生糸用繰糸機部品の開発と組み立て	
・未来につながるフィッシング方式 太織度低張力繰糸機	
・ビーティングマシンの開発	
・製糸機械の電子制御システム ー攪拌交絡糸（太織度低張力糸）の繰糸機構制御ー	
・コンピューター制御による超小型完全自動煮繭機の開発	
ー千差万別の繭を煮る煮繭機への挑戦ー	
◆糸のまち岡谷	
・「桑梓」の語源	
・市制施行70周年記念 岡谷市鳥瞰図と市勢のあゆみ展	
《聞き取り調査の記録》	
・聞き取り調査の記録 ー岡谷の製糸業ー	
・岡谷の製糸業（1）大正3年岡谷に来て	
紙上座談会 ー岡谷の製糸ー	
・岡谷の製糸業（2）製糸家に嫁いで ー糸取りの湯でふやけた手の子らは…ー	
家から通って	
富山の八尾町から来て	
・岡谷の製糸業（3）製糸工場の検番となって	
糸取りの難しさ	
戦後の製糸工場 ー終戦直後に就職してー	
・岡谷の製糸業（4）百歳が語る“生糸のまちに生きて”	
百歳になられた初代館長古村敏章さんを訪ねて	
・岡谷の製糸業（5）昭和初期 ヤマイチ林組製糸 争議の頃	
・岡谷の製糸業（6）北信・松代から岡谷の製糸工場へ来て	
戦後の製糸工場 ーミハト製糸株式会社の思い出ー	
・岡谷の製糸業（7）飛騨高山よりヤマキチ小口製糸工場へ ー104歳優等工女の語り	
「野麦峠を歩いて郷里へ」	
「あたしは岡谷が懐かしいだよ」	
・岡谷の製糸業（8）「岡谷はどえらい都会やった。家の仕事するより、糸挽きの方が楽やったわ」	
・岡谷の製糸業（9）工場に着いてすぐ、「父危篤」の電報でとんぼ帰り	
・岡谷の製糸業（10）糸取りはこの身が覚えている ー苦しいこともなく過ぎた10年間ー	
この繭のおかげに岡谷へ来ただよ ー夫は腕の良い煮繭手ー	
・岡谷の製糸業（11）ただ私は懐かしいと思うだけや。岡谷、岡谷って言って来れたんやで	

原田 尹文	8-41
嶋崎 昭典・森川 英明・鮎澤 諭志	10-70
鮎澤 諭志	12-104
清水 重人	11-30
宮坂 照彦	11-33
高林 千幸	11-36
草間 健一	11-38
星野 伸男	11-40
原田 尹文	11-42
森川 英明・岡島 正章	13-84
原田 尹文	13-87
	7-奥付ページ
	11-巻頭カラー
編集委員会	1-6
（武井はる子 97歳）	1-7
	1-10
（吉田愛子 82歳）	2-4
（増沢志め 88歳）	2-12
（高田寅太郎 91歳）	2-16
（小口正太郎 84歳）	3-4
（小口登志子 85歳）	3-4
（川尻千尋 65歳・金子はま子 65歳）	3-4
（小口りよ 101歳）	4-7
	4-7
（諏左キク 91歳・石原キヨ 88歳）	5-8
（大峽きよ志 100歳）	6-3
（吉川千栄子 小松幸子 伊藤あき江 柳沢輝子 高木美枝子）	6-3
（岩本きゑ 104歳）	7-8
（小泉松恵 92歳）	7-12
（安江キリ 92歳）	8-4
（関とめの 90歳）	9-4
（岡田よ志の 102歳）	10-4
（宮坂セツ 102歳）	10-7
（松井くに）	11-4

・岡谷の製糸業（12）繭は煮たから、それを挽かないと仕事にならない。
・岡谷の製糸業（13）「大将が弱っちゃったら、困るよ」って私が言ったら、「そりゃあそうだなあ」って
《経営者は語る》
・黒澤鷹次郎と諏訪倉庫 一黒澤翁寿銅像復元を機に社の歴史を振り返る
・株式会社コーエキの蚕糸薬剤開発のあゆみ
・味澤製糸株式会社の変遷と思い出 一平成10年、断腸の思いで85年の歴史に終止符一
・ものづくりのえにし
・戦前の製糸業盛んな川岸村 幼き頃の思い出 一小学生の頃から家業製糸業の手伝い一
・新增澤工業株式会社の製糸機械開発の歩み
・共栄工業株式会社の今昔 一私と製糸業一
・時代おくれの製糸工場のはなし 一宮坂製糸所一
・人との絆 一繭一筋に一
《ふるさとの先人・製糸家たち》
・生いたちの記
・片倉家の人々と片倉寄贈蚕糸資料 三代兼太郎の偉業を中心に
・旧庁舎の尾沢福太郎像 半世紀あまり、まちの移り変わりを見守る
・鶴峯公園と片倉兼太郎翁の銅像台座
・蚕糸同盟資料1800点余 一資料の調査研究によって、岡谷の製糸業がさらに解明できる一
・製糸業先覚者の姿 60年ぶりに復元 一岡谷市鶴峯公園に初代片倉兼太郎翁の銅像一
・片倉家の女性たち 初代片倉兼太郎夫人まさ様の喜寿のお祝い
・初代片倉兼太郎翁 鶴嶺公園に銅像復元 一平成15年5月5日 除幕式一
・中央本線開業100周年
・長野県製糸業における原生的労働関係の実態
・中央本線開業百周年 中央線全通にかけた製糸家たち
・合資会社 吉田館（1）一書翰集一
・合資会社 吉田館（2）一技術一
・戦後の吉田館 工務面から見た戦後の吉田館 社長 吉田秀夫の思い出
《工女さんの姿》
・商店街の屋下がり 一工女のまち、工女のための商店街一
・ふるさとにつながったポストと、輸送の先端となったトラック
・文学に描かれた製糸の世界
・組織としての工女教育 使命感に燃えて 一矢島社「向上雑誌第五巻（大正15年）」を読む一
・製糸工女賃金制の仕組みを探る 一ヤマキチ製糸所史料を通してみる一
・製糸聞き取り調査の総括 山本茂美著『あゝ野麦峠 ある製糸工女哀史』をたどる（1）
・製糸工場は「煙突学校」 工女教育で使われていた教材を探しています！「姿勢作法掛図」
・もと工女さんが作った自分史の本から
・記憶を呼び覚ますアルバムの写真 山上宮坂製糸所の講堂 一それは誉れ！忘年会での晴れ舞台一
《遺構調査・報告・資料・岡谷探訪》

だから「すぐ来て直してもらいたい」って ～国用製糸を支えた器械大工～
多糸繰糸機と自動繰糸機のはざままで 一信州から長い旅をしてきたものだ一

一「国家経済を保つに最も必要なる線路たるを信ず」一

(小口 登)	12-4
(須沢保夫)	12-10
(武井利雄)	13-4
小宮山利治郎	5-71
梅垣 良男	5-77
味澤 與重	6-13
山浦 克己	6-19
行田 隆宜	6-23
永田 肇	7-56
吉澤 英三	8-33
宮坂 照彦	9-23
竹村 武治	10-17
紀要編集委員会	1-54
紀要編集委員会	2-58
茅野 和雄	2-76
鮎沢 政治	3-82
小口 圭一	7-24
	8-巻頭カラー
小口 圭一	8-60
嶋崎 昭典	8-61
	10-巻頭カラー
武田 安弘	10-48
小口 圭一	10-100
嶋崎 昭典・森川 英明・鮎澤 諭志	11-61
嶋崎 昭典・森川 英明・鮎澤 諭志	11-71
高橋 眞	
林 幸彦	12-52
依田由紀子	5-116
鶴岡今朝吉	5-76
篠原 昭	10-38
岩下 貞保	11-88
小口 圭一	12-65
会田 進	13-95
12 - 巻頭カラー	
市川 一雄	14-105
	14-114

- ・岡谷市近代化遺産総合調査（その一） 今井・長地地区の製糸工場及び関連施設の調査
- ・岡谷市近代化遺産総合調査の記録 吉田館繭倉庫－諏訪の風物詩－ 白壁と鉄平石の屋根
- ・白壁の繭倉庫と林立する煙突
- ・釜口～天竜川散策
- ・間下タンク
- ・ヤマキチ組ヤマキチ製糸の繭倉庫と繭乾燥場 ー諏訪の風物詩、高層繭倉庫最後の姿を記録
- ・ヤマジョウ宮坂製糸所
- ・旧片倉組本部事務所 ー信州を代表する明治末期の本格的な洋風事務所建築
- ・岡谷式煙突建て
- ・岡谷の製糸業と山河 ー横川山 命はぐくむ緑の山と清流ー
- ・岡谷の製糸業と山河 横川山 命はぐくむ緑の山と清流 1. 横河山の荒廃と再生
- ・横川山の割り石と泣き石伝説
- ・工場法成立過程における長野県製糸業者の対応と動向
- ・岡谷の製糸業をより深く知るために ～一級史料 製糸経営史料の紹介～
- ・統計から眺める岡谷の製糸 ～世界への生糸供給基地Ⅰ～
- ・天恵の水力を活用して操業 矢島製糸場（上原工場）
- ・統計から眺める岡谷の製糸 ～世界への生糸供給基地Ⅱ～
- ・中央通りのまちなみ ～人集い、いきづく岡谷の商店街～
- ・諏訪蚕糸学校・岡谷工業高校 ー地域とともに歩む学び舎ー
- ・蚕糸産業：繰糸機に見るバルブ（カラン）の歴史
- ・彫刻「岩波翁肖像」・「K氏の像」～芸術家を育てたエピソード
- 《経済産業省認定 近代化産業遺産》
- ・経済産業省認定 近代化産業遺産群
- ・市立岡谷蚕糸博物館所蔵 蚕糸資料コレクション
- ・経済産業省認定 近代化産業遺産群 ～近代化産業遺産が紡ぎ出す先人達の物語「上州から信州そして全国へ」
- ・岡谷近代化産業遺産総合調査の記録 旧丸興製糸株式会社事務所棟・金上株式会社繭倉庫
- ・平成20年度 岡谷市の近代化産業遺産活用事業から
- ・近代化産業遺産を地域活性化に役立てる ー平成20年度 岡谷市の近代化産業遺産活用事業からー
- ・平成21年度 岡谷市の近代化産業遺産活用事業から
- ・特別展 あるき太郎とたどる我がまち岡谷の近代化産業遺産展
- ・「まちあるきはまちづくり」近代化産業遺産を地域活性化に役立てる
- 《シルクの館「旧林家住宅」だより》
- ・ご来館をお待ちしています
- ・見学の案内
- ・多量の箴を発見
- ・土蔵の中のイチヤマカ林製糸の書類を整理中

ー在りし日の事務所・工場群の姿を残す製糸工場調査の速報

ー近代製糸業の発展過程を物語る富岡製糸場などの近代化産業遺産群ー

～平成21年度 岡谷市の近代化産業遺産活用事業から～

小林宇佐雄	1-22
吉澤 政己	1-32
林 嘉志郎	1-42
清水袈裟春	1-44
田中 薫	1-60
吉澤 政己	2-49
吉澤 政己・小林宇佐雄	3-41
吉澤 政己	4-72
依田由紀子	4-90
	7-巻頭カラー
	7-71
	7-75
武田 安弘	11-46
小口 圭一	11-107
鮎澤 諭志	11-97
	12-35
鮎澤 諭志	12-117
	13-29
	14-11
濱 光洋	14-89
	14-44
	12 - 巻頭カラー
	12 - 巻頭カラー
	12-17
	12-44
	13 - 巻頭カラー
	13-24
	14 - 巻頭カラー
	14 - 巻頭カラー
	14-4
	1-62
	2-83
上条 重利	3-84
清水袈裟春	4-88
会田 進	3-46

■日本の蚕糸絹

◆日本の蚕糸業界の歴史・あゆみ

- ・赤レンガ館 官営富岡製糸場 ー群馬県富岡市 片倉工業株式会社富岡工場ー

- ・近年の蚕糸行政の歩み（前編）－最近5年間の激動期の動き－
- ・近年の蚕糸行政の歩み（後編）－最近5年間の激動期の動き－
- ・（岡谷蚕糸博物館蔵）綴織 ツタンカーメン（写真）
- ・綴織 ツタンカーメン
- ・繭の強制検定58年の回顧－繭検定格付方法のあゆみ
- ・農林水産省蚕糸試験場の沿革とそのルーツをたどる
- ・独立行政法人農業生物資源研究所
- ・学の還俗－東京大学農学部 昆虫遺伝研究室
- ・山小屋の主人の楽しみ－信州大学繊維学部蚕機能生理学講座－
- ・松本での蚕糸研究100年
- ・横浜開港150周年テーマイベント 開国博Y150「横浜につながる絹の道展」
- ・旧蚕糸試験場岡谷製糸試験所（現農業生物資源研究所生活資材開発ユニット）のあゆみ

I. 設立の経緯と組織の変遷

◆日本の蚕糸技術と開発

- ・高山社 1. 技術主導型生産体制を確立した高山社
2. 思い出
3. ふるさと
- ・日本乾燥機株式会社の繭乾燥機の今昔－一段バンド型繭乾燥機開発まで
- ・株式会社大和三光製作所の乾燥機
- ・ケイナン式自動繰糸機の開発
- ・ニッサン自動繰糸機の開発と普及－究極の自動繰糸機を求めて－
- ・スチームエンジン（写真）表紙裏に解説
- ・煮繭技術について
- ・ニッサン自動繰糸機HR-2（詳細は本文「博物館だより」）（写真）
- ・製糸は伝統産業だからガンバってます－松澤製糸の糸じゃなきゃだめという声をはげみに－
- ・生糸検査の技術
- ・共燃式で高品質生糸を生産 旧伊藤製糸部（亀山製糸室山工場）
- ・セリプレーン検査器
- ・煮繭手の想いをのせて 煮繰分業を支えた配繭車

◆桑・カイコ

《養蚕・桑》

- ・日本一の養蚕農家をめざす 赤坂 光さん
- ・桑の品種
- ・山繭と有明紬の里をゆく
- ・手織りから始まった養蚕・糸づくり「繭の芽STUD10」
- ・桑のこと、あれこれ
- ・伊那の蚕糸業発展における先人の知恵と努力
- ・卒倒菌（Bacillus thuringiensis）発見 100周年記念 国際シンポジウム
－石渡繁胤教授の業績の顕彰－
- ・カイコの遺伝資源の長機保存研究

－繭の工業原料化に向けて品質確保と作業の合理化をめざす－
－生糸のバルキー性と糸味と風合いを追求した真の自動繰糸機の完成まで－

久保 脩	3-60
久保 脩	4-61
	5-表紙写真
鮎澤 諭志	5-26
井上 和也	6-45
小林 勝利	7-25
北村 實彬	8-49
小林 正彦	6-61
木口 憲爾	7-65
間瀬 啓介・山本 俊雄	13-43
	12 - 巻頭カラー
高林 千幸	14-35
嶋崎 昭典	3-31
中村 榮二	3-37
河瀬 和人	3-38
田畑 善徳・遠藤 克也	4-48
長谷川 茂	5-27
和田 定男	5-43
小林 安・瀬木 秀保	6-27
	7-表紙写真
勝野 盛夫	7-39
	8-表紙写真
	10-90
三戸森領夫	11-10
	11-29
	11-128
	12-43
降幡三州子	1-48
藤田 晴彦	2-80
横田 幸子	4-84
筋誠 珠美・ROBERT WHITEHEAD	6-86
村上 毅	6-97
岩下 嘉光	11-121
鮎沢 啓夫	13-55
持田 裕司・竹村 洋子	14-45

《蚕種》

- ・焼き捨てられた蚕卵紙 — 横浜にて輸出用蚕種の焼却処分
- ・高原社 — 蚕種製造を続けて63年、時代を見すえて新製品開発中—
- ・独立行政法人農業生物資源研究所における家蚕遺伝資源の保存
- ・九州大学大学院農学研究院附属遺伝資源開発研究センター家蚕遺伝子分野

《カイコ》

- ・カイコに薬をつくらせる
- ・蚕の遺伝資源
- ・蚕の繭作りの数理 — 蚕の繭づくりと行動遺伝学
- ・カイコの人工飼料研究の経緯と問題点 — わが国蚕糸技術の継承と発展にむけて—
- ・蚕体病理学が伝える「知」と「技」
- ・蚕学から応用分子昆虫学へ — 北海道大学農学部 応用分子昆虫学教室—
- ・カイコの起源を考える — 九州大学大学院 遺伝育種学講座 蚕学研究室—
- ・カイコの神経分泌 — 研究の回顧と最近の潮流—
- ・昆虫工場 — カイコの体内で人間に役立つ有用物質を生産する
- ・蚕と共に生きて
- ・喧噪の中のロマン — カイコと休眠とウイルスと—
- ・繭糸質等に特徴ある蚕品種の育成
- ・組換えカイコの作出と利用
- ・組換えカイコの作出と利用
- ・クワ乳液の秘密 — クワとカイコの攻防関係に迫る—
- ・天蚕の人工孵化からがん細胞増殖制御物質の発見まで
- ・埼玉ブランド繭「いろどり」（笹繭）のセリシンを利用した化粧品等の応用開発
- ・家蚕繭における新たな特性「光沢・色彩」
- ・遺伝子組換え蛍光繭の製品化

◆絹・シルク開発

- ・絹の新しいキャラクター製品 “シルクウェーブ” の開発
- ・絹のコンタクトレンズの不思議な話
- ・発足時から現在に至るまで
- ・新しいシルク素材の開発研究
- ・シルクで糖尿病の診断を — シルクのバイオ素材としての新しい利用の試み—
- ・絹和紙の美しさと期待される用途
- ・シルクによるインテリア製品の開発
- ・絹の医療分野への利用 — 絹糸の改質による人工腱・靭帯作出の試み—
- ・色繭の効用 — 健康衣料の開発に向けて—
- ・シルクの非衣料分野への展開 — シルクブラシの開発
- ・絹弦をつくる
- ・食べる絹
- ・シルクウェーブ利用による新製品 — インテリア製品とシルクフィルターの開発—
- ・キトサンによるシルクウェーブへの抗菌性付与

京都工芸繊維大学繊維学部 応用生物学科環境微生物研究室

名古屋大学大学院生命農学研究所 資源昆虫学研究室

上原留津子 9-33
 高橋 眞 9-34
 小瀬川英一 9-82
 藤井 博 10-105

今西 重雄・富田秀一郎 1-50
 岡島 輝雄・清水久仁光 2-75
 三浦 幹彦 3-78
 堀江 保宏 5-53
 松本 継男 5-62
 飯塚 敏彦 5-82
 古賀 克己 6-63
 小林 勝利 6-67
 井上 元 7-19
 田島弥太郎 7-33
 小林 迪弘 7-63
 山本 俊雄 8-15

9-巻頭カラー

田村 俊樹・神田 俊男 9-29
 今野浩太郎 11-24
 鈴木 幸一・楊 平・安 嬰 12-38
 近 達也 13-61
 岡田 英二・中島 健一・間瀬 啓介・高林 千幸 13-65

14 - 巻頭カラー

高林 千幸 1-51
 塚田 益裕 1-52
 高林 千幸 1-52
 高林 千幸 2-20
 出村 誠・朝倉 哲郎 2-78
 今井 朗子 3-72
 高林 千幸 3-77
 西出 照雄 3-79
 勝野 盛夫・青木 昭 3-80
 高林 千幸 4-13
 小松 計一 4-82
 平林 潔 4-83
 高林 千幸 5-42
 中島 健一・高林 千幸 6-56

- ・ “はくぎん” 3眠化繭による超薄シルク地の開発
- ・ ネットロウシルクによるデニム用織物の作出
- ・ シルクから機能性素材をつくる
- ・ クモ糸の量産と新しい絹の作出に魅せられて
- ・ 蚕研における最近のシルク新素材開発の概要 ー無燃シルクと加燃シルクー
- ・ ハイバルク・シルク繰糸機の開発
- ・ 人工血管用繭糸チューブの開発
- ・ 機能性色素を分泌するセリシン蚕品種の開発
- ・ ふい絹の新しい製品開発とその活動
- ・ シルクから新しいファイバーの世界へ
- ・ 遺伝子組換え蛍光繭の製糸方法と製品化
- ・ 蚕糸・シルクイノベーションの戦略と実践

■絹の歴史・文化

◆古代絹

- ・ 中国蘇州絲綢博物館からの復元古代絹織物（寶花園窠對鳥錦・雷紋花綺）（写真）
- ・ 中国蘇州絲綢博物館提供の復元古代絹織物（雲龍緯絲）（写真）
- ・ 蘇州絲綢博物館との学术交流協定締結 ー絹の糸で深く結ばれた縁ー
- ・ 中国古代復元絹織物「舞人動物紋錦」（戦国時代）（写真）
- ・ 中国古代復元絹織物「塔形紋錦」（戦国時代）（写真）
- ・ 中国古代復元絹織物「花鳥紋錦」（唐代）（写真）
- ・ 平成14年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成14年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 中国古代復元絹織物「絳地紅花鹿紋錦」（唐代）（写真）
- ・ 平成15年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成15年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 中国古代復元絹織物「毬路双獅紋錦」（清代）（写真）
- ・ 平成16年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成16年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成17年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成17年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成18年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成18年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 岡谷市・中国 蘇州絲綢博物館学术交流協定締結10周年記念特別展 ー挙日本初公開ー
- ・ 中国古代復元絹織物33点
- ・ 中国古代復元絹織物展 ～古代に尋ねる“絹ものがたり”～
- ・ 平成20年度新収蔵 中国古代復元絹織物
- ・ 平成20年度新収蔵 中国古代復元絹織物

◆絹文化と歴史

- ・ 製糸の起源を尋ねて ー糸文字に託された伝言ー

ーセリシンへの効率的な化学加工技術の開発ー

中島 健一・高林 千幸	7-32
中島 健一・中屋 昭・高林 千幸	8-14
寺本 英敏・中島 健一・高林 千幸	9-52
中垣 雅雄	10-26
清水 重人	10-29
高林 千幸・中村 邦子・宮崎 栄子	10-35
高林 千幸・中島 健一・宮崎 栄子	11-22
間瀬 啓介・岡田 英二	12-36
清水 重人	12-102
平井 利博	13-132
高林 千幸・宮崎 栄子・木下 晴夫・熊井 敏夫	14-52
井上 元	14-123

3-表紙写真

4-表紙写真

4-巻頭カラー

6-表紙背景写真

7-表紙背景写真

8-表紙背景写真

8-巻頭カラー

8-87

9-表紙背景写真

9-巻頭カラー

9-60

10-表紙背景写真

10-巻頭カラー

10-121

11-巻頭カラー

11-130

12-巻頭カラー

12-139

13-巻頭カラー

13-巻頭カラー

13-104

14-巻頭カラー

14-130

鮎澤 諭志

嶋崎 昭典

2-44

よみがえる染織の美3000年 中国古代復元絹織物展 ～古代に尋ねる“絹ものがたり”～

- ・砧のうた ー絹の精練・仕上げのルーツを求めて
- ・蚕飼いはじまりを尋ねて
- ・絶（あしぎぬ） ー幻の絹を尋ねてー
- ・伝統技術へのこだわり
- ・世界にはばたく伝統産業 ー横浜スカーフの再興をめざしてー
- ・世界にはばたく伝統産業 ー横浜スカーフの再興をめざしてー
- ・八王子の歴史と織物
- ・天皇陛下御在位20年慶祝行事 蚕糸絹文化シンポジウム「地域が支える蚕糸絹文化」

◆シルク・サミット

- ・シルク・ミュージアム・サミット2001 in 岡谷
- ・シルク・サミット 2001 in 桐生
- ・シルク・サミット 2002 in 網野
- ・シルク・サミット 2003 in 横浜
- ・シルク・サミット 2004 in 八王子
- ・シルク・サミット 2005 in 駒ヶ根
- ・シルク・サミット 2006 in 富岡
- ・シルク・サミット 2007 in 蚕都上田
- ・シルク・サミット 2008 in ふくしま

◆工房の活動・絹の伝統文化と新しい絹の紹介

- ・ニーズに応じ好みの糸を繰ります マルナカ宮坂製糸所
- ・岡谷絹工房 ー専門家育成と岡谷の「織」を再発見ー
- ・平成11年度岡谷蚕糸博物館特別展から 伝統絹織物の魅力 信州の紬作家展
- ・上田紬 ー故きを知り、現代を生きる伝統産業
- ・紬の魅力と岡谷の絹織物の歴史
- ・上田紬 ー故きを知り、現代を生きる伝統産業
- ・絹が支える、絹を支えたい 岡谷に生まれた“シルク”工房と専門店
- ・セカンドスキンをめざして
- ・絶に夢を託して ーふるさと岡谷に絹の痕跡を残す
- ・織の里「原村 ハツ手」生き続けるウチ織りのこころ
- ・織の里「原村 ハツ手」生き続けるウチ織りのこころ
- ・シルクインテリア ー生活空間にやすらぎを演出する新たなシルク産業ー
- ・シルクインテリア ー生活空間にやすらぎを演出する新たなシルク産業ー
- ・咲き織順子の世界 ー古い布がよみがえるー
- ・咲き織順子の世界 ー古い布がよみがえるー
- ・岡谷絹がフランスへ ーメゾン・エ・オブシェ2006出展ー

■世界の動き

◆中国

- ・蘇州絲綢博物館と中国絲綢織綉文物複製中心（蘇州シルク博物館と絹綉文物複製センター）
- ・中国蚕糸業の現状 ー体質的变化を遂げ、一層の進展へ向かうー
- ・古のシルクロードからカイコゲノムへ ー中国における家蚕のゲノム研究

嶋崎 昭典	4-26	
嶋崎 昭典	5-99	
嶋崎 昭典	6-72	
秋山 眞和	8-53	
	9-巻頭カラー	
椎野 秀聰	9-75	
田中 貞夫	10-96	
	12-巻頭カラー	
北村 實彬・高林 千幸	6-79	
北村 實彬・高林 千幸	7-67	
北村 實彬・高林 千幸	8-81	
北村 實彬・高林 千幸	9-69	
町井 博明	10-92	
北村 實彬・高林 千幸	11-115	
北村 實彬・高林 千幸	12-127	
北村 實彬・高林 千幸	13-125	
高林 千幸	14-117	
宮坂 敏美	3-74	
依田由紀子	3-76	
	5-巻頭カラー	
	5-巻頭カラー	
宮坂 博文	5-95	
依田由紀子	5-106	
	6-巻頭カラー	
	6-巻頭カラー	
	7-巻頭カラー	
	8-巻頭カラー	
	8-71	
	8-巻頭カラー	
	8-79	
	9-巻頭カラー	
	9-65	
	11-巻頭カラー	
ー中国シルクの一大中心地蘇州からー	錢 小萍	2-55
	白 倫	6-57
	向 仲懷	10-23

ー岡谷絹工房 絹の故郷 もえぎ工房ー
ー日本が培った「シルク」にしかできない服づくりをー デザイナー岡正子さんを訪ねる
 テキスタイルデザイナー 宮坂博文さんを訪ねる

◆インド	
・蚕糸大国インド ―世界第2位の生産量を誇る― インドの蚕糸業	
・インドにおける養蚕技術の開発と普及	
・インド蚕糸業の現状と新たな展開	
◆ラオス	
・ラオス国の養蚕事情について ―伝統的な絹の手織物	
・ペンマイギャラリーと女性起業家 ―ラオスの内発的発展モデル―	
◆ネパール	
・ネパールの蚕糸業	
◆ヨーロッパ（イタリアを中心に）	
・ヨーロッパ16世紀の蚕飼いの糸繰り図絵	
・イタリア式繰糸機の技術発達略史（前篇）	
・イタリア式繰糸機の技術発達略史（後編）	
・絹業からファッション王国へ ～イタリア～ 絹のゆくえ ―イタリア絹業界の歴史と今	
・アベッグ・シルク博物館（市立）	
・世界的天才レオナルド・ダ・ヴィンチは15世紀に機械織機（自動織機）を発明考案	
・レオナルド・ダ・ヴィンチ：世界で最初の機械織機（自動織機）	
・ギリシャでの国際養蚕委員会（ISC）学術大会に参加して	
◆ブラジル	
・ブラジルのシルク産業	
■岡谷蚕糸博物館の活動	
◆ウオンテッド	
・幻の逸品を求めて ―家のタンスに眠っていませんか 小倉織―	
・古い写真を探しています	
・タンスに眠る着物を提供してください 大正～昭和の普段着の着物	
・機織機を探しています	
・優等工女は勤続表彰で嫁入り道具を揃えた	
・製糸工場の生産を支えた、西條炭の情報を探しています	
・製糸工場の名入り手拭いを探しています	
・諏訪特産の織物“小倉織（諏訪小倉）・諏訪平”を探しています	
・工女さんたちの着物を探しています ―明治・大正・昭和初期の工女さんたちの仕事着―	
・製糸工場の屋号入りの法被（印半纏）を探しています	
・懐かしのあの頃がよみがえる品 ～明治から昭和30年代 諏訪地方の暮らし～	
・製糸全盛の頃がよみがえる品 ～活気に満ちた諏訪地方の商店～	
・製糸工場は「煙突学校」 工女教育で使われていた教科書・読み物などを探しています！	
◆博物館だより・学習支援活動	
・1号 博物館の紹介 平成8年度主要事業	
・2号 特別展「見て・触れて・体験する製糸」から 平成8年度事業をふりかえって	
・3号 平成9、10年度事業をふりかえって	
・4号 甘酸っぱい思い出 フランス式繰糸機の復元 11年度特別展のおしらせ	

―動続表彰でもらった鏡台・裁縫箱・タンスなどを提供して下さい―

T. H. Somashekar, Subhas V. Naik & G. Hariraj	4-74
大槻 良樹	4-77
柳川 弘明	11-17
山川 一弘	7-51
大矢 劔治・みさを	8-68
狩野 寿柝	12-31
瀬木 秀保	1-18
瀬木 秀保	3-15
瀬木 秀保	4-14
ひさえ・小口・プロコヴィオ	5-63
フラヴィオ・クリッパ（訳 瀬木 秀保）	5-67
9-巻頭カラー	
Dott. Flavio Crippa 抄訳 瀬木 秀保	9-53
高林 千幸	13-49
谷内 利男	3-56
	1-58
両角加代子	2-78
両角加代子	3-86
両角加代子	4-88
鮎澤 諭志	5-94
小口 圭一	6-60
宮坂 照彦	7-98
小口 圭一	8-48
上原留津子	9-81
上原留津子	10-89
	11-136
	13-28
	14-116
	1-58
	2-81
	3-84
	4-86

- ・5号 蚕の飼育 フランス式繰糸機復元機の繰糸実演「シルクフェアinおかや」 岡谷蚕糸博物館紀要協力会
- ・ファッション・ドリーム その① 蚕から織物・絹製品 手作り手引き 蚕から繭まで（小中学生版）
- ・6号 手作りのお土産 中国一級文物が岡谷に9点も 走れ1300メートル
- ・ファッション・ドリーム その② 蚕から織物・絹製品 手づく手引き（小中学生版）
- ・7号 養蚕体験 -1000頭の蚕を育てた少年- 岡谷市立小井川小学校3年生の体験学習紹介
- ・岡谷蚕糸博物館特別展から ラオスの染めと織 -母から娘へ伝える技-
- ・8号 寄贈 ニッサン自動繰糸機HR-2 -丸興工業が残した宝物-
家で蚕を飼いました -蚕の配布事業より-
- ・市立岡谷蚕糸博物館開館40周年記念特別展 カイコとシルクの魅力・ふしぎ展 ~体感サイエンス~
- ・9号 市立岡谷蚕糸博物館40周年記念特別展「カイコとシルクの魅力・ふしぎ展」の活動から
ヤマキチ組小口製糸所史料 明治・大正・昭和の3000点余
初めて卵を孵化させるところからカイコを飼った -不安と驚き-
蚕糸博物館に桑畑 -4月、桑苗100本定植- 座繰りと座繰
- ・そめたり おったり 「シルク岡谷」探検隊
- ・10号 そめたり おったり「シルク岡谷」探検隊 岡谷市立神明小学校5年3部
- ・11号 博物館だより
- ・岡谷蚕糸博物館紀要 総目次（第1号～10号）
- ・平成19年度 夏のワークショップの紹介
- ・12号 博物館だより
- ・平成20年度 博物館の活動から
- ・13号 博物館だより
- ・平成21年度 博物館だより
- ・博物館収蔵棚から 古文書を紐解いて ～「ゲンジロウ」の名前の表記について
- ・14号 博物館だより
- ◆読者の声
- ・終戦直後の思い出
- ・成熟を超えて
- ・紀要読者の声 来館者の声 資料寄贈者と寄贈品
- ・読者からのキーワード 読者からの寄稿
- ・読者の皆様からのメッセージ 読者からの寄稿
- ・読者の広場
- ・読者の広場
- ◆裏表紙（ポタニカル・アート 山田恭子画）
- ・1号 枝垂桑（学名：モーラス・ラテホーリア）
- ・2号 地元の人という「小坂桑」
- ・2号 小坂桑 ポタニカル・アートによせて（解説） 小坂桑をご存知ですか
- ・3号 桑 -青軸
- ・4号 枝垂桑 -雌花と実
- ・4号 枝垂桑 -雌花と実 ポタニカル・アートによせて（解説）
- ・5号 天蚕の幼虫と繭

古村 敏章
竹田 忍

山田 恭子
山田 恭子
小口 雄勇
山田 恭子
山田 恭子
小口 雄勇
山田 恭子

- 5-108
- 6-86
- 6-108
- 7-77
- 7-93
- 8-巻頭カラー
- 8-92
- 8-93
- 9-巻頭カラー
- 9-98
- 9-98
- 9-100
- 9-101
- 10-巻頭カラー
- 10-125
- 11-132
- 11-137
- 12-巻頭カラー
- 12-142
- 13-巻頭カラー
- 13-137
- 14-巻頭カラー
- 14-128
- 14-133
- 2-84
- 6-65
- 5-110
- 6-106
- 7-99
- 8-94
- 9-102
- 1-裏表紙
- 2-裏表紙
- 2-86
- 3-裏表紙
- 4-裏表紙
- 4-92
- 5-裏表紙

- ・5号 天蚕の幼虫と繭 ボタニカル・アートによせて（解説）
 - ・6号 5齡の蚕と桑
 - ・7号 桑（品種名・根小屋高助）
 - ・8号 繭と蛾
 - ・9号 桑（いちのせ）
 - ・10号 桑の葉（はちのせ）
- ◆カット
- ・7号
 - ・8号

小口 雄勇
山田 恭子
山田 恭子
山田 恭子
山田 恭子
山田 恭子
鶴岡今朝吉
鶴岡今朝吉

5-115
6-裏表紙
7-裏表紙
8-裏表紙
9-裏表紙
10-裏表紙

7-31
8-52・93